

インサイド自動ガン RN1-A-10□□

この取扱説明書に示された警告事項および注意事項は必ず守ってください。
使用時に不用意に塗料が噴出したり、有機溶剤の吸引により重大な身体上の障害を起こすことがあります。
⚠ 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

| | |
|-----------|---|
| 警告 | 警告内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。 |
| 注意 | 注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。 |
| 重要 | この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。尚、本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則又、それぞれの企業や事業所で規則、規定として守るべき事項に従ってください。 |

付属の“WA-101”の取扱説明書も必ずお読み下さい。

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項および取扱い方法について記載しています。
この取扱説明書で扱われている機器は、塗装業務用途の商品です。他の用途には使用しないでください。
正しい取扱指導を受けられ、機械の操作方法を理解された方以外の人は、使用しないでください。
ご使用前に、必ずお読みになり、十分理解してからご使用ください。
本書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

重要仕様

| | | |
|--------|---------|-----------------------------|
| 最高使用圧力 | 0.70MPa | |
| 騒音値 | 83dB(A) | |
| 条件 | 吹付条件 | 推奨使用条件 |
| | 測定位置 | スプレーガンより後方へ1m 地面より高さ1.6m |
| 使用温度範囲 | 雰囲気温度 | 5°C~40°C |
| | 流体温度 | 5°C~43°C(液体・気体) |

| ベース自動ガン | | | |
|---------------|-------|---------|---------------|
| 形式 | 塗料ノズル | | ニードル弁 ASSY 表示 |
| | 口径Φmm | 表示 | |
| WIDER1A-08E2P | Φ0.8 | ▲/W1/08 | 12H WIDER1A |

※空気キャップ ASSY は付属しません
ベース自動ガンに関しては、右記 QR コードより個別の取扱説明書をご参照ください。



主要仕様

| 形式 | 塗料供給方式 | ディスクノズル 口径φmm | 首長さ mm | パターンノズル 形状 | 推奨使用条件 | | 接続口径 |
|------------|--------|---------------|------------|------------|-------------------------|--------------|----------------------------------|
| | | | | | ※1 吹付空気圧力 及び 塗料圧送圧力 MPa | 塗料噴出量 mL/min | |
| RN1-A-10□□ | 圧送式 | 12-φ0.8 | 下記表を参照ください | | 0.1~0.49 | 150 | 霧化エア: φ8 作動エア: φ6 塗料: G1/4 |

※1 吹付空気圧力は、吹付空気を流した時のスプレーガンの入口部の圧力です。

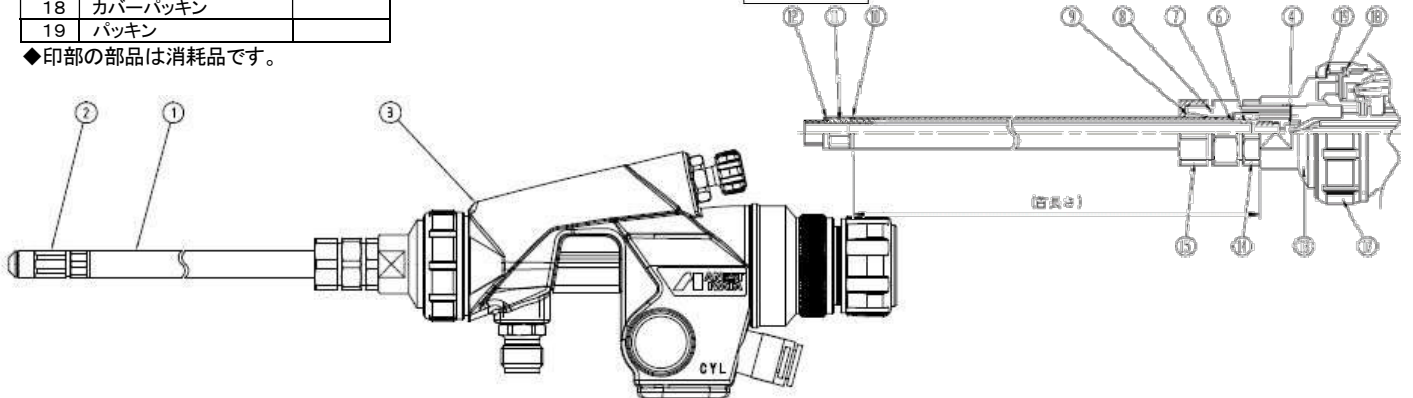
部品名称

| No. | 品名 | 個数 |
|-----|------------|----|
| 1 | 長首パイプセット | 1 |
| 2 | ディスクボタンノズル | 1 |
| 3 | 自動ガン | 1 |
| 4 | キャップパッキン | 1 |
| 6 | 内パイプセット | 1 |
| 7 | 外パイプ | 1 |
| 8 | 首基100 | 1 |
| 9 | くさび | 1 |
| 10 | ノズル基パッキン | 1 |
| 11 | ノズル基 | 1 |
| 12 | パッキン | 1 |
| 13 | キャップ100 | 1 |
| 14 | ジャミナット | 1 |
| 15 | パイプ押さえカバー | 1 |
| 17 | カバー | 1 |
| 18 | カバーパッキン | |
| 19 | パッキン | |

◆印部の部品は消耗品です。

形式コード表示：RN1-A-10500-2 (例)

| 首長さ (mm) | | 記号 | ボタン角度 |
|----------|----------|----|-------|
| 75→075 | 1000→10H | | |
| 100 | 1200→12H | 2 | 150° |
| 150 | 1500→15H | 3 | 135° |
| 200 | 1600→16H | 4 | 120° |
| 250 | | | |
| 300 | | | |
| 350 | | | |
| 500 | | | |
| 750 | | | |



◎部品御注文の際は、スプレーガン形式、及び上記No. 品名を御指定ください。

◎長首パイプセットをご注文の際は、首長さまでを合わせてご指定ください。

◎ノズルニードル ASSY やニードル弁パッキンセットなど、上記表に載っていない部品に関しては、別記の QR コードよりベーススプレーガン個別の取扱説明書をご確認ください。

◎開封時、破損や欠品がないことを確認してください。

◎欠品、輸送上の損傷がある場合は危険防止のため使用せず、お買い求めになった販売店又は当社支店・営業所・サービス会社までご連絡ください。

■安全にご使用頂くための警告事項

⚠ 警告

火災と爆発

1. **吹き付け作業場は、火気厳禁です。**
・ 塗料は引火性があり火災の危険性があります。
・ たばこ、点火、電気機器等、引火の恐れがあるものは必ず避けた所でご使用ください。
2. **次のハロゲン化炭化水素系溶剤は使用しないでください。**
化学反応により、本体(アルミニウム部分)にクラック、溶解が発生します。
・ 不適合溶剤: 塩化メチル、塩化エチル、二塩化メチレン、二塩化エチレン、四塩化炭素、トリクロロエチレン、1,1,1トリクロロエタン 等
(特殊な塗料やシンナーは充分適合性を検討した上でご使用ください。適合性検討のための材質リストを提出する用意があります。)
3. **自動ガンには、ガンステーからのアースの接続やアース線入りホースを使用する等、確実にアースを接続してください。**
アースが不十分ですと、静電気のスパークによる火災、爆発の危険性があります。



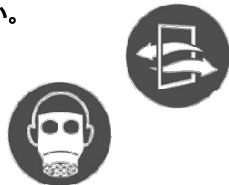
機器誤用

1. **絶対に人や動物に向けてスプレーしないでください。**
目や皮膚の炎症、人体への危険があります。
2. **最高使用圧力以上での使用は絶対に避けてください。**
3. **洗浄、分解、保守作業をする前及び作業中断時には必ず塗料と空気の圧力を逃がしてください。**
圧力が残っていると、誤動作、洗浄液の飛散により人体に危険があります。
圧力を逃がす方法は、スプレーガンへの圧縮空気、塗料、シンナー等の供給を停止します。
次に、ピストン作動用空気のみを供給し、ニードル弁を動かすことにより塗料を排出し、すべての圧縮空気の供給を停止します。
4. **メンテナンスの際、ニードル弁 ASSY および塗料ノズルの先端には触らないでください。**
ニードル弁 ASSY、塗料ノズルの先端は鋭く尖っており、怪我をする恐れがあります。



人体保護

1. **吹き付け作業は、塗装ブース等を使用し、換気の良いところで使用してください。**
換気が不十分ですと有機溶剤中毒や引火の危険が増えます。
2. **常に適切な服装または保護具を着用してください。(眼鏡、マスク、手袋)**
目や皮膚に洗浄液等がつき炎症を起こします。
目や皮膚に異常を感じたら直ちに医師の治療をうけてください。
3. **健康安全上耳栓の着用をお奨めします。**
使用条件、作業環境により、騒音値が80dB(A)以上になる場合があります。



その他

1. **製品の改造はしないでください。**
十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。
2. **他の装置(ロボット、レシプロ、等)の作動範囲内で作業をする場合は、装置の停止を確認してから行ってください。**
ロボットやレシプロとの接触でけがをすることがあります。
3. **食品用や化学薬品用には使用しないでください。**
塗料通路内部の腐食による事故発生や異物混入による健康障害の可能性がります。
4. **異常を発見したら直ちに使用を停止して原因を調査してください。異常が解決されるまでは再使用しないでください。**

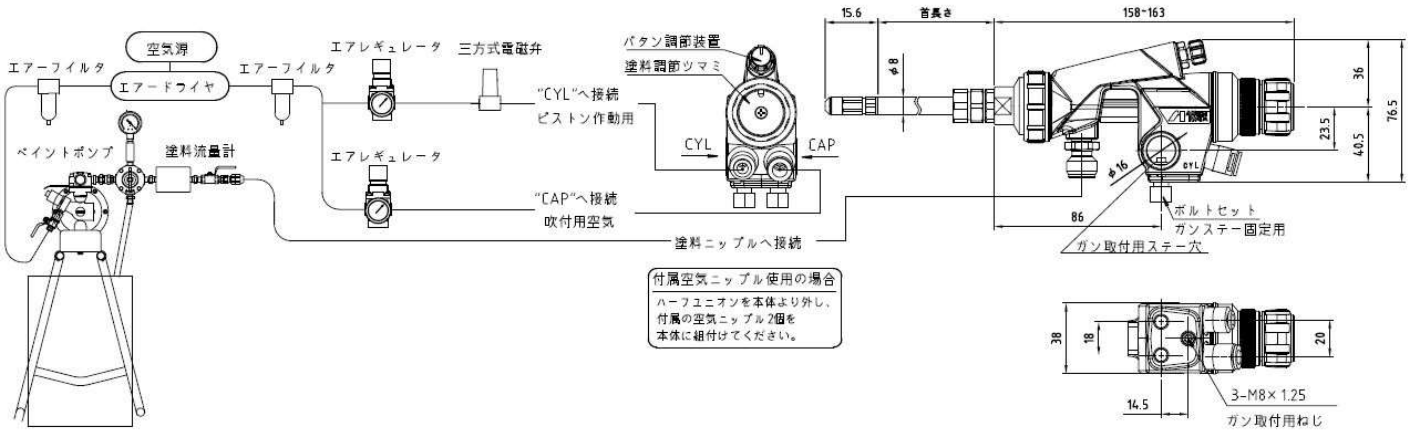
■接続方法

⚠ 注意

- ・エアードライヤやエアークリフを通したきれいな圧縮空気を使用してください。
塗装作業に使用する空気が汚れていると、塗装不良を起こします。
- ・購入後初めてご使用の場合、塗料通路内部の防錆油を取り除くため、シンナーを吹いて内部の洗浄を行ってください。
防錆油が残っていると、はじき等塗装不良の原因となります。
- ・三方式電磁弁の有効断面積はφ4相当以上及び、エアホースは内径φ6以上10m以内としてください。
三方式電磁弁の排出空気容量があまり小さいもの及び三方式電磁弁と自動ガンまでのエアホースを長くすぎたりすると、作動、停止に多少の遅れが起こります。
- ・ホースは、自動ガンにしっかりと固定してください。
ホースのはずれ、容器の落下により、人体に傷害を及ぼす可能性があります。

- 作業 1 自動ガンを取付ステーに取付け、目的の吹付方向に向けてから固定します。
- 作業 2 吹付空気側 (CAP刻印側) に吹付用エアホースを、作動空気側 (CYL刻印側) に作動用エアホースを接続します。
- 作業 3 塗料ホースを塗料入口側に接続します。
- 作業 4 自動ガンにシンナーを供給し、吹付けを行い自動ガン等の塗料通路をシンナー洗浄します。
- 作業 5 自動ガンに塗料を供給し、塗料の試し吹きを行い空気量、塗料噴出量、パターン幅を調節します。
- 作業 6 作業終了時は、洗浄液を用いてポンプ又はタンク及びホース内を洗浄します。
この時、ディスクパタンノズルを外して行います。
ホース内が洗浄されてから再びディスクパタンノズルをつけて吹き付けをし、ノズル内を洗浄します。
ディスクパタンノズルは入念に洗浄し、塗料などの固着がないか確認してください。

[空気・塗料ホース接続例]



調整方法

重要

・このスプレーガンは、内部混合式のスプレーガンです。原則的には塗料圧力と空気圧力が先端部で同一でなければなりません。空気圧が高いと塗料は噴出しません。又塗料圧が高いと空気通路に塗料が逆流する可能性があります。
 ・長首パイプセットの取付は、スプレーガンノズルを④キャップパッキンがシールされていないと息切れになります。息切れの時は、⑥首基100を軽く締め込み先端シールを完全にして⑭ジャミナットで固定してください。この際、ジャミナットを締めすぎないように注意してください。強く締めすぎるとネジ部を破損する可能性があります。

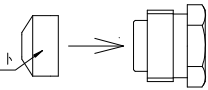
- 作業 1 作動圧力0.29～0.39MPaに設定します。
 作業 2 吹付空気圧力は塗料の粘度、性質により異なりますが、概略0.1～0.49MPaの範囲に設定します。
 作業 3 塗料粘度は、塗料の性質、作業条件により異なりますが、粘度カップ(NK-2)で15～23秒程度が適当です。
 作業 4 塗料噴出量の調整
 塗料減圧弁を下げ調整します。
 下げすぎると塗料が噴出しません。微調整は、塗料調節ツマミで容易にできます。
 作業 5 噴霧粒子の調整
 ・塗料噴出量を少なくすると粒子は細くなります。
 ・吹付空気圧力(空気量)を上げると、粒子は細くなります。

保守・点検

※本項目の部品名称に関しては、本書1ページ目の部品表、及びベーススプレーガンの個別取扱説明書を参照ください。

警告

- ・安全にご使用頂くための警告事項の機器誤用3項に従い、圧力を完全に逃がしてから作業してください。
- ・十分理解され、熟達された方が行ってください。
- ・腐食を防ぐためにPH値は6～8の洗浄液をご使用ください。

| 保守時の作業手順 | 重要 |
|---|--|
| 1.残った塗料を他の容器に移した後、塗料通路及び空気キャップASSYの洗浄を行います。塗料通路の洗浄は少量のシンナーを吹き付けて行います。 | 1.洗浄不良はパタン形状や粒子の不具合の原因となります。特に二液塗料を御使用後は素早く入念に洗浄してください。 |
| 2.各部の洗浄はシンナーで浸したブラシで行い、ウエス等でふき取ります。 | 2.自動ガン全体をシンナー等の液中に浸さないでください。長時間浸漬した場合、構成部品の損傷の原因となります。なお、洗浄時には塗料ノズルの各噴出穴及びニードル弁ASSYは絶対にキズを付けないでください。 |
| 3.分解する前には塗料通路内部を十分洗浄します。 | 3.分解した時、シート部に傷を付けないように注意してください。 |
| (1)塗料ノズルの分解 塗料ノズル分解時工具はメガネレンチ、ボックスレンチ又は別売りの専用スパナ(コードNo.03538600)を使用してください。 | (1)塗料ノズルを外す時は、シート部保護のため作動エアを入れ、ニードル弁ASSYを引いた状態で行ってください。 |
| (2)ニードル弁ASSYの分解 塗料調節装置を外し、ニードル弁ASSYを本体ASSYより引き抜きます。塗料調節装置は、ニードル弁ばね及びピストン押しばねで強く押されているため分解時、ばねが飛び出さないように注意してください。 | (2)ニードル弁ASSYを引き抜く時は、ニードル弁パッキンセットの保護のためニードル弁パッキンセットを緩めてから行ってください。 |
| (3)ピストンセットの分解 ニードル弁ASSY後部のねじをピストンセットにねじ込みピストンセットを引き抜きます。 | (3)ピストンセットを引き抜く時は、ピストンパッキンに傷を付けないように注意してください。 |
| (4)空気弁シートASSYの分解 市販のボックスレンチ(平径14)を使用してください。 | (4)空気弁シートセットを分解する時は、シート部、Oリングに傷をつけないように注意してください。 |
| 4. ニードル弁パッキンセットを調節する時は、ニードル弁ASSYを挿入したままで一旦、手で締め込みます。手で締まった所からスパナで再度締め込みます。スパナで締める目安は、手で開けて止まった所から1/6回転程度です。ニードル弁パッキンセット交換時 先端部分が本体に残る場合がありますので確認してください。  | 4.ニードル弁パッキンセットは締め過ぎるとニードル弁 ASSY の動きが悪くなり塗料先端漏れの原因となります。作動エアをON/OFFさせ、ニードル弁ASSYの動きを確認しながら調節してください。万が一、締めすぎてしまった時は、ニードル弁パッキンセットを完全に緩めてからもう一度締め直してください。 |
| 5.パタン調節装置の組立は、調節装置を全開にしてから本体ASSYにねじ込みます。 | 5.パタン調節装置を取りつける時は、つまみを全開にしないと、パタン調節装置の先端が先に本体にぶつかり、損傷の原因となります。 |

| | | |
|--|--|--|
| 6. 塗料調節装置についての注意点 | | 6. |
| (1)本体への取付 装置を全開にした状態で、ねじ部にシリコングリース又は、オイルを塗布して行きます。取付/取外しはローレット部を回して行ってください。 | | (1) 塗料調節装置を取り付ける時は、つまみを全開にしないと、ニードル弁ASSYの先端シート部が塗料ノズルとぶつかり、損傷の原因となります。ねじ部にグリース又は、オイルを塗布しないと、カジリの原因となります。 |
| (2)調整方法 調節はつまみを回して行ってください。全開の目安は、ガイド～つまみ間の隙間が2mmです。それ以上に締めすぎないように注意してください。 | | (2) つまみを締めすぎると、ノズルが変形してしまいます。 |
| (3)その他 塗料調節装置は分解しないでください。 | | (3) 塗料調節装置を分解してしまうと、部品紛失などで再組立てできなくなる恐れがあります。 |

| 点 検 箇 所 | 部 品 交 換 基 準 |
|--------------------------|-------------------------------------|
| 1.塗料ノズルの各穴の通路 | つぶれ、変形がある場合は交換 |
| 2.パッキン、Oリング類 | 変形、摩耗の場合交換 |
| 3.塗料ノズル、ニードル弁ASSY間のシート漏れ | 塗料ノズル、ニードル弁セットの洗浄を十分行っても、漏れがある場合交換。 |

| パター ン | 原 因 | 対 策 |
|-------------------------------|---|---|
| 息切れ | 1) 塗料ノズルと本体のテーパシート間より空気が混入。 2) ニードル弁パッキンセットからのエア吸込み。 3) 塗料容器取付けナット又は塗料ホース継手部よりの空気の混入。 | 1) 塗料ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。尚、シート部にキズがある場合は交換してください。 2) ニードル弁パッキンの締め増しを行ってください。 3) 継手部の締め付けを確かめ完全にしてください。 |
| パタン不完全 (12本の線で円周状にできるのが正常) | 1) ノズル、又はスリットつまみ 2) ディスクパターンノズルの塗料噴出部に塗料付着又はキズ | 1) パタンノズルを取り外し十分洗浄 2) 洗浄、スリット部にキズのあるものは交換 |

| 状 況 | 発 生 箇 所 | チ ャ ッ ク 箇 所 | 原 因 | 締 め 増 し | 調 整 | 洗 浄 | 部 品 交 換 |
|-----------------|-------------------|---|---|---------|-----|-----|---------|
| 塗料漏れ | 自動ガン先端部 | 塗料ノズル～ニードル弁ASSY | シート面のゴミ・キズ・摩耗 塗料調節つまみの締めすぎ ニードル弁ばねのへたり | | ○ | ○ | ○ |
| | | 塗料ノズル ～ 本体ASSY | 締め付け不良 シート面のゴミ・キズ | ○ | | ○ | ○ |
| | ニードル弁パッキン部 | ニードル弁パッキンセット ～ニードル弁ASSY | ニードル弁パッキンセットの締め付けすぎによる ニードル弁ASSY戻り不良 ニードル弁ASSYへの塗料の固着による ニードル弁ASSY戻り不良 | | ○ | ○ | ○ |
| 塗料出ず | 自動ガン先端部 | ニードル弁パッキン部 | ニードル弁パッキンセット ～ニードル弁ASSY | 締め付け不良 | ○ | | |
| | | 塗料調節装置 塗料ノズル ニードル弁パッキンセット ～ニードル弁ASSY | 開度不足 孔の詰まり・ゴミ・固着 塗料固着 ニードル弁パッキン押しの締め付けすぎ | | ○ | | ○ |
| 空気漏れ (先端からの) | 空気弁ASSY～ ピストン部 | ピストン | シート面のゴミ・キズ | | | ○ | ○ |
| | | 空気弁シートASSY | シート面のゴミ・キズ 空気弁ばねのへたり | | | ○ | ○ |
| | | Oリング | 劣化・キズ | | | | ○ |

■ 保証と修理サービス

- ・保証期間は、お買いあげの日から6ヶ月です。
- ・万一、故障の場合は、お買いあげの販売店又は当社支店・営業所にご連絡ください。保証期間中は、無償修理いたします。
- ・本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次損失に対する補償は致しませんのでご了承願います。
- ・次の場合は保証期間内でもお客様の負担(有償)になります。
 - ・取扱説明書の注意事項を守られなかったことによる故障および損傷
 - ・お客様の取扱上の不注意による故障および損傷
 - ・消耗品の交換・修理
 - ・天災、地震、火災、地震、水害、塩害、落雷、公害などによる故障および損傷
 - ・純正部品以外の部品が使用されている場合
 - ・指定の修理店以外による修理がなされている場合
- ・保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan

お問い合わせ先

・電話でのお問合わせ
アネスト岩田コンタクトセンター
0800-100-1926
 受付時間：8:45～12:10/13:00～17:30
 但し、土日・祝日・弊社指定休日を除く。

・メールでのお問合わせ
<https://www.anest-iwata.co.jp>
 各種お問い合わせ先は変更する場合がございますので、最新のお問い合わせ先につきましては当社ホームページをご覧ください。

アネスト岩田株式会社

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176
 ホームページ <https://www.anest-iwata.co.jp>

取説 No.T1117-00
 コード No. RN1-A-M01